

4月19日(日) 社会奉仕プロジェクト 於：京都市山科区 東部文化会館
 郡プロジェクト委員長、森田社会奉仕委員長、ならびに会員の皆様、お疲れ様でした。
 当日の活動の詳細につきましては後日改めて掲載いたします。



京都市内ロータリークラブ例会情報

訪問の際は必ず事前(2~3日前には)各クラブにご連絡下さい

4/22 (水)	京都	「トランプ劇場と高市劇場」 ホテルオークラ京都 同志社大学法学部教授 同志社大学元学長 村田 晃嗣氏
	京都北東	「地区RLIについて」 グランドプリンスH RI第2650地区RLI委員 安井 継彦氏
	京都嵯峨野	クラブデー ANAクラウンプラザH
	京都朱雀	「ゴルフクラブのフィッティングのこれまでとこれから」 リーガロイヤルH ゴルフショップ Avant 市原 正之氏
4/23 (木)	京都南 ※	新会員スピーチ「肉屋生まれ、肉屋育ち、焼肉屋への挑戦」「島根県のご紹介」 ホテルグランヴィア 会員 西田 哲也氏、宇田川 亨氏
	京都北	「言葉のちから」 ブライトンH 落語家 桂 枝女太氏
	京都洛北	例会変更 ※ビジター受付なし ホテルオークラ京都
	京都西北	「時を越え光り輝く京都の景観づくり」 ANAクラウン 京都市計画局都市景観部員政策課長 関岡 孝緒氏
	京都洛東	夜間例会 ※ビジター受付なし ウェスティン都H
	京都桂川	休会 ※ビジター受付なし サウザンドキョウト
	京都モーニング◎	「知ることから始まる多様性～企業が出来るLGBTQ配慮～」 ホテルオークラ京都 暁project(株)大久保 暁氏
	京都さくら★	クラブフォーラム「20周年に向けて」 ANAクラウンプラザH
	京都イブニング☆	「郵趣・郵便事情」 Hグランヴィア 会員 平田 喜洋氏
	4/24 (金)	京都東
京都伏見		次年度会長方針説明 Hグランヴィア 会長エレクト 中村 道一氏
京都洛西		「間葉系幹細胞とアミンを使った、究極の若返り治療」 ホテルオークラ京都 笠木ウェルネスクリニック院長 笠木 伸平氏
京都紫竹		「地域と共に挑戦する丹後ちりめん産地」 ブライトンH 丹菱(株)代表取締役 単語ちりめんオーダーメイド販売 糸井 宏輔氏
4/27 (月)	京都西	リーガロイヤルH
	京都紫野	「質のいい睡眠のとおり方」 ブライトンH (一社)ライフシフト睡眠メンタリーヘルス協会代表取締役理事 藤井 英三氏
	京都中	創立35周年記念式典並びに祝賀会の為、例会変更 ホテルオークラ京都

清茶淡話・自然体



京都東山ロータリークラブ

DISTRICT 2650 CHARTERED April 13, 1968
 例会：火曜日 12:30～ ウェスティン都ホテル京都
 姉妹クラブ：新竹 RC(台湾)、金沢南 RC

UNITE FOR GOOD

「未来へつなぐ」
2650 地区基本方針

「東洋医学の世界」

道端 悠馬

本日は若輩者に「健康」という壮大なタイトルの下、卓話の機会をいただき感謝しております。健康という言葉を知ると皆様は何を想像するでしょうか？「痛みのない体」「不調を感じない内臓」「思考を巡らせる精神」などなど具体的ななしかしどこか抽象的な想像が沸き立つことと思います。病院や個人の医院である医者が行うものが「医療」であり、「西洋医学」と称しています。それ以外の医療行為が「医療類似行為」と言われ、鍼灸や漢方を「東洋医学」と称しています。では、東洋医学からみた健康とはどのようなものでしょうか。健康の語源は「健体康心」という中国の古典を基に、明治時代に福沢諭吉が「健康」と略したものが最も有力な説とされています。健体康心は左右に揺れる体と上下に揺れる心を表しており、体の健康と精神の健康が両立されていることが好ましいとされています。その先、養生や衛生という健康を保つための日々の生活のコツが重要視されていきました。具体的に体や精神の状態が悪い箇所を見つけて、そこに直接アプローチをかけるものが西洋医学や現代医療であり、皆様が服用しているお薬や手術がツールになります。抽象的に体や精神の全体像を捉えて、間接的なアプローチをかけることで自然治癒力を高めやすい身体づくりをお伝えすることが東洋医学であり、様々な民間療法や鍼灸、按摩などがツールになります。

～ 環境月間 ～

■本日の例会 米山ランチ
 開会点鐘 [12:30]
 ソング：「春の小川」
 会長挨拶
 幹事報告
 委員会・同好会報告
 「健康卓話シリーズ第二弾」
 道端 悠馬 会員
 閉会点鐘 [13:30]

例会終了後引き続き
 ～～次年度予算アッセンブリ～～

■本日の会合
 後期会長会 11:30～ 於：平安

■出席情報
 会員数 52(8)名 31名(4)名()は出席率除外会員
 ビジター 0名 ゲスト 5名 出席率 64.58%
 (第2720回 出席率 88.00%)

～4月28日(火)・5月5日(火) 休会～

■次回例会 5月12日(火) 12:30～ 於：葵殿
 例会 クラブ・デー<お祝い>
 「卓話 健康卓話シリーズ第3弾 福留 幸一 会員」

■次回会合
 例会後 13:40～ 第11回理事役員会 於：平安

2025-2026年度	会長(理事・役員) 安澤英治 会長エレクト・副会長 井川正隆 (理事・役員)	会員増強(理事) 井上正博 クラブ戦略策定(理事) 小森直之 親睦活動・出席(理事) 村岡正浩 無任所(理事) 吉田武雄 無任所(理事) 川勝裕之 S. A. A. (役員) 寄本猛 会計(役員) 中塚浩 60周年記念実行委員会 坂田均	副幹事 中塚浩、竹之内米貴 永井智亮、道端悠馬 小森雅之 副S. A. A. 布施栄一、茂山忠三郎 砂崎達哉、森田理香 副会計 上村承生
-------------	--	---	--

第2650地区出向 R-財団資金推進委員会 委員 井川正隆
 R-財団グローバル補助金委員会 副委員長 永井智亮
 インターネット委員会 委員 郡正樹

非常に残念なことではありますが、昨今の鍼灸院や鍼灸接骨院などのいわゆるサロンと呼ばれる店舗や施設では、東洋医学の考え方をういて西洋医学的アプローチをかけることが増えています。その結果、わかりやすい効果のある施術が広がることと共に西洋医学 VS 東洋医学の構図が内外共に広がっています。今回はそういった西洋と東洋の差ではなく、同じ「ヒト」を観る視点の違いがあるというところに目を向けていただければ幸いです。

最後になりますが、稚拙な文章かつ卓話になるとは思いますが温かい目でご覧いただけますと幸いです。

幹事報告

■引継ぎ報告書・年次報告書作成のお願い

各委員長さまへ
メール、ポストインにて改めてお願いさせていただきますが、引継ぎ報告書および年次報告書の作成をお願いします。
締切りは5月12日とさせていただきます。

■次回の例会

次回の例会は5月12日です。4月28日は**休会**
5月5日は**祝日休会**となっております。
不規則な例会開催となっておりますこと、ご容赦ください。

■米山奨学生 陳さんの初来会

2026年度の米山奨学生 陳晋賢さんが、5月12日例会に初の来会になります。暖かくお迎えしましょう。

■2026-27年度 次年度幹事報告

*本日、例会終了後に次年度予算案のアッセンブリーがございます。そのままお残りいただきますようご協力宜しくお願い致します。

*4月18日(土) CLLS に会長、幹事、本田会員、上村会員、中村(吉)会員、内藤会員、道端会員、今中会員の9名で参加して参りました。分科会に出席された会員のレポート・コメントを左記に掲載しておりますので、ご一読ください。
参加の皆様、お疲れ様でした。

ニコニコ箱・特別寄付 (4/19)

【ニコニコ箱】 78%

計 40,000円 累計 1,715,000円

「本日は、皆様がんばりましょう」

谷川君、川中君、松井君、小坂君、吉田君
郡君、井川君、村岡君、中村(吉)君、寄本君
山田君、布施君、安倍君、藤居君、永井君
吉井君、三宅君、長谷君、今中君

「本日は最高の天気です。よろしく」

安澤君

【ロータリー財団】 112%

計 0円 累計 1,216,060円

【米山記念奨学】 96%

計 0円 累計 1,044,500円

「春の小川」作曲・岡野貞一、作詞・高野辰之

春の小川は さらさら行くよ
岸のすみれや れんげの花に
すがたやさしく 色うつしく
咲けよ咲けよと ささやきながら

春の小川は さらさら行くよ
えびやめだかや 小ぶなのむれに
今日も一日 ひなたでおよぎ
遊べ遊べと ささやきながら

4月18日(土)「クラブ・リーダーシップ・ラーニング・セミナー(CLLS)に参加して」

今回より年度開始前の地区研修・協議会が表題の名称に変更されました。分科会に参加した会員からのレポート・コメントです。地区の現状・方針などをご理解いただければ幸いです。

会長・クラブ管理運営<規則手続関係> (井川会長)

多種多様に、しかも以前では考えられないようなスピードで変化し続けている昨今、ロータリークラブの活動も、それらの変化に対し、柔軟に変化、進化することが必要であり、それはRI、地区及びクラブ共通の課題であるが、その解決に向けて活動の主体となるのは、RIではなく各クラブ、更には一人ひとりのメンバーであるということを感じた研修でした。

幹事・会員増強 (今中会員増強副委員長)

新会員の定着には、全員での声掛けや役割を通じた関係構築が重要だと強く感じました。また会員増強に向けては、夜間交流や同好会への招待に加え、全会員で候補者を挙げる仕組みを作るなど、当事者意識が不可欠です。

ロータリー財団 (山田副会計)

皆様の寄付が源泉となり、RI財団や地区財団からクラブへ様々な奉仕活動や奨学生に向けて補助金が配分されてます。我がクラブでも、国際奉仕や社会奉仕の活動に対して補助金を受けています。2026-27年度の地区財団委員会テーマは「財団の仕組みを理解し、その資金を活かして、クラブの未来を築く」です。そのため、地区では、イーラーニングを地区委員会サイトで公開し、財団を活用しやすくする。各クラブの参考となるセミナーを開催する。財団の6つの委員会が連携しクラブの意向や質問を受けやすくする。ということです。財団寄付目標額は、お一人180ドルです。ご協力よろしくお願いいたします。

米山記念奨学 (上村米山記念奨学副委員長)

米山委員会、留学生へのカウンセラーの対応が年々融通がきかなくなっているの心からの対応が出来るかどうか。

青少年奉仕・危機管理 (内藤青少年奉仕副委員長・危機管理委員)

青少年・危機管理分科会に参加し、中本パストガバナーの「愛を持って接する」という言葉が印象的でした。同時に、危機管理の観点から意識的な対応の重要性を改めて認識しました。

公共イメージ・広報 (道端広報・雑誌・記録委員長)

CLLSに参加して国際ロータリー、地区ロータリー、各ロータリーのトップダウンとボトムアップの関係性をもってロータリークラブを拓ける必要があると感じました。また委員会では、公共イメージの向上とそれに伴う会員増強の拡大についてディスカッションをしました。陰徳を掲げていたロータリーが陽徳に傾きかけてる今できることを模索していこうと思います。



地区研修協議会から名称変更となりました。2026-27年度地区クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーに参加してきました。